

## 次世代まちづくり協議部会



### 菊地哲也議長

次に、次世代まちづくり協議部会 11番 豊郷中学校2年 白鳥希さん、24番 壬生高等学校3年 津出夏樹さん。

### 11番 白鳥希議員

議長，11番

### 24番 津出夏樹議員

議長，24番

〔11番 白鳥希議員，24番 津出夏樹議員 登壇〕

### 11番 白鳥希議員

11番，豊郷中学校の白鳥希です。「オリオンスクエアのPR」について，提案します。

オリオンスクエアは，中心街の活性化の為につくられたようですが，まだ十分にはその目的を達成しているとは思いません。その理由は，多くの市民に知られていないこと，オリオンスクエアの宣伝不足だと，私は思います。同時に，中高生が参加したくなるようなイベントが少ないということも，ひとつの課題だと考えられます。

そこでその問題を解決する1つの方法として，より効果的なPRが必要だと思います。その為に，私たちは次のような方法を提案します。

まず，大人から子どもまでを含めたPRサポーターを組織するというのはどうでしょうか。そし



て、会員に定期的にダイレクトメールを送り、そのダイレクトメールで得た情報の宣伝をサポートに依頼すれば、PRの力強い味方になってくれると思います。あるいは、テレビやラジオなどのメディアを積極的に活用したり、学校や自治会組織でのPRのチラシの配布を行うなども、有効な宣伝手段になると思います。

このようにPRを重点的に行うことで、オリオンスクエアの魅力が広く市民に知られることにより、オリオンスクエアの利用者増加が図られます。また、それに伴い、オリオン通りの活性化が図れるなどいろいろな効果が期待できると思われれます。

このような提案についてどうお考えですか。

以上で質問を終わりにします。よろしく申し上げます。

## 24番 津出夏樹議員

24番、壬生高等学校の津出夏樹です。「オリオンスクエアの施設活用」について提案いたします。

現在行われているスクエアでのイベントでは、小中高生を対象に行われているイベントが少なく、これらの小中高生のオリオンスクエアの利用がほとんどないのが現状になっています。そこで、小中高生を対象にしたイベントを私たちから提案したいと思えます。

まず、小中学生を対象にしたイベントについてですが、例えばビンゴやダーツ大会、スタンプラリーを行ってみるといのはいかがでしょうか。これらのイベントは、小中学生の興味をとても引きやすく親子で楽しむことも可能なので、家族のコミュニケーションを図る場としても有意義になることでしょう。

次に、高校生を対象にしたイベントですが、例えば、バンドの発表の場を提供していただけないでしょうか。高校生のバンドは、最近ではどこの高校でも存在していて彼らは常に発表の場を求めています。しかしながら、一般のライブスタジオ等では出演料の問題やチケット販売のノルマと言った課題が多く、高校生が、自分たちの演奏を発表する場が少ないというのが現状です。そこで、オリオンスクエアで演奏を披露する場を設けることにより、宇都宮市の音楽文化の更なる発展が期待できると同時に、バンド演奏を観に来る他の高校生がオリオンスクエアに足を運ぶことで、オリオンスクエアという場所が高校生たちに親しんでもらうことができます。

このように若い世代の人たちが施設を管理する方のご指導をいただき、自らイベントを企画・運営し、オリオンスクエアを利用してもらうことにより、将来のオリオンスクエアの利用率の向上につながり、市の中心部の更なる活性化も期待できます。

私たちの提案を是非検討してくれませんか。

以上で質問を終わりにします。よろしく申し上げます。



## 刑部郁夫経済部商工担当次長

議長， 経済部商工担当次長

## 菊地哲也議長

経済部商工担当次長

〔刑部郁夫経済部商工担当次長 登壇〕

## 刑部郁夫経済部商工担当次長



中心市街地の賑わいの復活に対する白鳥議員の熱い思いを感じました。

それでは「オリオンスクエアについて」のご質問にお答えいたします。

「PR方法について」であります。オリオンスクエアは、中心市街地のまさに中心部に、2,000㎡のイベント広場として、昨年11月にオープンしたところであり、このような広場は、全国でも数少なく、本市としては、日本一の広場として活用をしていかなければならないものと思っております。

現在、オリオンスクエアは、オープン以来、土日は、イベントが多数開催されており大変盛況であります。平日の利用は少ない状況にあり、その活用が課題となっております。

そうしたことから、オリオンスクエアの存在を市民はもとより、県内外のみなさまにも知っていただき、お越しいただくことが、大切でありますことから、現在、全国からロゴマークを募集しており、この秋にはこのマークを活用したグッズやパンフレットを作成してまいります。

白鳥議員から提案いただきましたサポーターの登録、メディアの活用、チラシの配布などにつきましては、大変すばらしいアイデアでありますので、これらの方法も含め、あらゆる機会を活用し、今後とも積極的にPRを行ってまいりたいと考えております。

## 刑部郁夫経済部商工担当次長

若者らしいフレッシュで積極的な提案をいただきありがとうございます。

それでは津出議員の「オリオンスクエアについて」のご質問にお答えいたします。

「イベントの提案について」であります。オリオンスクエアではこれまで80件程度のイベントが開催されたところではありますが、その大部分が大人向けのイベントであり、小中高生向けのイベントは、自転車の安全な乗り方を体験する「高校生のマナーアップ教室」の1件であります。小中高生のみなさんが、イベントを通して、さまざまな人との触れ合いや交流をしていくことは、教育面はもとより、中心市街地の活性化のためにも、とても必要なことだと考えています。

そこで、まず、小中学生を対象にしたイベントに対して多くの提案をいただきましたが、特に、スタンプラリーは、オリオンスクエアを拠点として、宇都宮城址公園や二荒山神社などを回ること

により、多くの文化財や史跡などを見たり、知ったりすることで、宇都宮の歴史を肌で感じるとともに、家族や若い人がまちなかにあふれる、とても魅力的な事業であると考えます。

また、高校生を対象にしたイベントにつきましては、オリオンスクエアは、中心市街地の活性化とにぎわいを創出する拠点として設置された、市民のみなさんが自由に活用できる広場でありますので、さまざまな音楽・文化サークルの発表会、コンテストなどの青少年の活動にオリオンスクエアをおおいに利用していただきたいと考えております。

本市といたしましても、小中高生のみなさんが学校や地域を越えて、自らイベントを企画し、開催・実施できるよう、助言・指導などの支援をしていきたいと思っております。

### 菊地哲也議長

以上で、次世代まちづくり協議部会の質問を終わります。

